

【群馬】

アニメで町活性化を「零士サミット」に16団体 富岡で開幕

2012年7月16日

SF漫画家、松本零士さん(74)の作品で町おこしに取り組む団体が集合した初めての「零士ワールドサミット」が十五日、富岡市一帯で始まり、全国各地から十六団体が参加した。この日はサミット会議や作品などを展示する松本零士展に本人が訪れ、ファンや市民を魅了した。(菅原洋)

市内を通る上信電鉄は、車両に名作「銀河鉄道999」のキャラクターを張り付けた電車を運行。サミットは運行を実現させた住民が中心の実行委員会が企画した。

参加したのは草津温泉観光協会(草津町)、滝野川馬場商店会(東京)、東京都練馬区、福井県敦賀市など。

世界遺産への推薦が決まった富岡製糸場で開かれたサミット会議には、各地から約二百人が来場。各団体が活動報告した後、松本さんら六人による意見交換となった。

各団体が財政難に伴う補助金削減などで運営が厳しい現状に触れると、松本さんは「胸が痛む。皆さんがいかに歯を食いしばって頑張っているかが分かった。涙が出るほどうれしい。敬意を払い、頭が下がる思いだ」とエールを送った。

一方、この日から富岡市黒川の市立美術博物館で始まった松本零士展には、名作「宇宙戦艦ヤマト」をはじめとした台本、原画類、ポスター、キャラクターグッズなど計二百点以上が並ぶ。九月二日まで。一般七百円、大学・高校生五百円、中学生以下無料。原則月曜休館。

サミットは十六日までで、同日はアニメの上映会やライブ、コスプレ大会などがある。



サミット会議で発言する松本零士さん=いずれも富岡市で